

流星群のススメ

星を見るのは夏が向いていると思ってませんか？確かに気温の面では夏の方が向いていると言えます。しかし冬の空気は乾燥しており、大気中の水蒸気に邪魔されずに星を見る事ができるので、むしろ冬の方が星を見るのには適しているのです。しかも今年の12月に到来するふたご座流星群は、月光に邪魔されず、なおかつピークの時間が夜中に来るとされています。ここ近年で最高の条件の下、初心者でも簡単に流星群を観測できるので、見に行ってはいかがでしょうか。

流星とは

流星とは、彗星などがその軌道上にまき散らした数ミリメートルほどのちりが、地球の大気圏内に飛び込んだときに高層大気中で発光する現象です。大気圏内に飛び込んだりは、上空140キロメートルくらいから高温になり、光り輝いてあっという間に燃えつきてしまいます。

有名な流星群

流星群名	活動期間	極大時刻（日本時間）	月の条件（月齢）	予想流星数（1時間当たり）
ふたご座流星群	2015年12月7日～12月17日	12月15日3時	○ (3)	70個
しぶんぎ座流星群	2016年1月1日～1月5日	1月4日17時	△ (24)	20個
ペルセウス座流星群	2016年7月17日～8月24日	8月12日21時	× (15)	40個

持ち物

	携帯電話 非常事態に陥ったときの連絡手段として使います。
	懐中電灯 街灯などがない場合、観測地点まで行くのに使います。

	冬には 防寒具（手袋、マフラー） 夜は想像以上に冷えるので、厚着にプラスして使います。
	夏には 虫よけスプレー 夜は蚊などの虫が多いので、持っていくと安心です。

はみだし
すてーじ
もう、うんざりだ!!!!!!
⇒ちくしょー!!!!!!

(理・1 HANNIBAL)
(なんて日だ；編)

観測スポットの選び方

Check Point 1



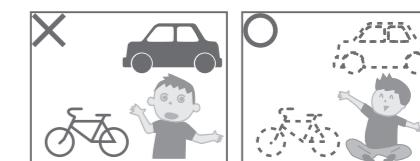
街灯などの人工光が少ないところを選びましょう。明るいと流星が見にくいので、できるだけ暗い場所が良いです。

Check Point 2



建物が密集しておらず、見晴らしの良いところを選びましょう。空が広く見渡せるような場所が良いです。

Check Point 3



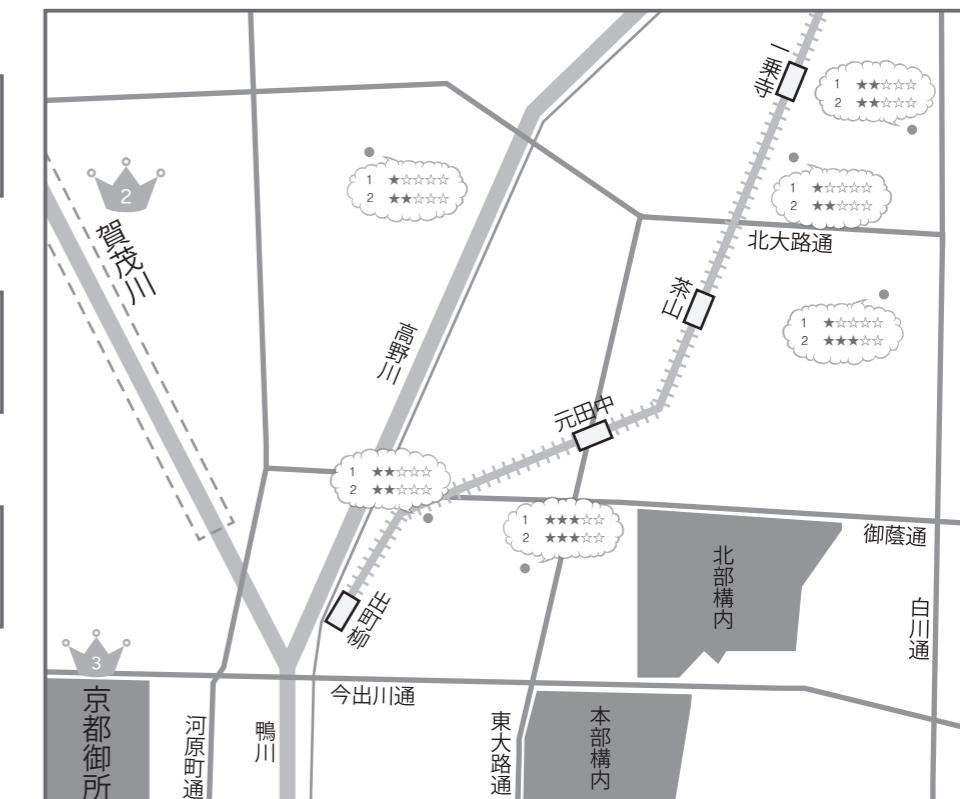
交通量の少ないところを選びましょう。長時間の立ち見は疲れるので、腰を下ろせる場所が良いです。

京大周辺ならココがおすすめ

(Check Point 1と2の条件をどの程度満たすか調査しました)



凡例
• オススメの公園



京大周辺に3つの条件を十分に満たす場所は限られています。

しかし、流星群はある程度場所の条件が良ければ簡単に見ることができます。近所の公園や駐車場など、探してみれば見ることができる場所は意外とたくさんあります。

この冬は誰かを誘ってお気に入りの場所で空を眺めてみるのはいかがでしょうか。

参考図書

Martin Beech (長谷川一郎, 十三塾訳)『天体観測の教科書 流星観測編』誠文堂新光社
高橋典嗣『星空の楽しみ方』洋泉社

はみだし
すてーじ
ゼミ発表が辛いので入学したての頃に戻りたい。
⇒どうせなら保育園くらいに戻りたいですね。

(理・4 ねおん)
(バブ～；編)